

渡辺ちなみ

安心して子育てできる稲沢を

戦争立法反対

若者を戦場に送らない

日本共産党

稲沢民報

2015年 号外 発行：日本共産党稲沢市委員会
日本共産党の政策と見解を紹介します。

戦争立法・秘密保護法・原発推進・消費税増税…

安倍政権の暴走ノー

自衛隊が世界のどこであれ「戦闘地域」まで行って米軍を支援…。安倍政権は、自衛隊員を「殺し・殺される」危険にさらそうとしています。憲法9条をこわす「戦争立法」は許せません。

また、医療・介護・年金など、社会保障のあらゆる分野で個人負担を増やそうとしています。一方で消費税の増税を予定しながら、大企業・大金持ちには減税を続ける安倍政権。

自治体の役割は「住民福祉の増進」です。ところが、稲沢市は国言いに大型開発を優先し、保育料や国保税の値上げなどの市政を続け、日本共産党議員以外何でも賛成の議会になっています。「安心して暮らしたい」という市民の願いに応えるために、日本共産党の3議席が必要です。

躍進した国会議員団とともに 5つの転換に全力

- 1 消費税 10%は「先送り」ではなく、きっぱり中止！「消費税に頼らない別の道」に転換
- 2 格差拡大の「アベノミクス」の暴走ストップ！暮らし第一への転換で経済を立て直す
- 3 「海外で戦争する国」づくりを許さない！憲法9条の精神に立った外交戦略で平和と安定を築く
- 4 原発再稼働ストップ！「原発ゼロ」の日本をつくろう
- 5 米軍の新基地建設を中止し、基地のない平和で豊かな沖縄をつくります

子育て支援に全力

◇私の願い

長引く不景気のおりを受け、就職難やブラック企業が蔓延し、若い人たちに小林多喜二の『蟹工船』が注目されました。私も25歳の時小林多喜二の著作を読み、反戦平和と労働者の権利を守るために、日本共産党へ入党しました。

共働きをしながら、産休明け保育・長時間保育や学童保育運動にかかわってきました。

いま、旧平和町では小学校3校を1つ、3園の保育園を1つにしようという統廃合計画が進められています。周囲が工場団地に囲まれ、交通危険地域になっていくことに、私は絶対反対です。

子どもの貧困・格差が広がる中で、安心して子育てのできる街づくりが求められています。

今、安倍政権のもとで平和という名のもとに「戦争できる国づくり」が加速されています。私は、戦争は絶対反対です。私たちは憲法に守られ生きてきました。後に続く子どもや孫たちに、憲法・平和な社会を引き渡すことが私たちの使命だと思います



渡辺ちなみプロフィール

- ◇1951年祖父江町生まれ 64歳 夫と息子2人
- ◇平和町在住(平和町法立東瀬古下28)
- ◇祖父江小・中・高校・聖徳学園女子短期大学(11部)卒業。
- ◇42年間公立小中学校の事務職員。退職後は学童保育の指導員。
- ◇愛知学童保育連絡協議会会長・稲沢市学童保育連絡協議会会長・稲沢母親大会実行委員会事務局長・稲沢市保育を考える会事務局
- ◇趣味・山歩き ガーデニング ◇家族 夫・猫の「おはな」も同居

働きながら安心して子育てを と願って42年

- 暮らし、子育て、障がい者も安心してらせるまちづくり
 - ・高校卒業まで医療費を無料化します。
 - ・保育料の引き下げ、延長保育料を廃止します。
 - ・一人暮らし、高齢者世帯の配食サービス等を充実します。
 - ・特別養護老人ホームの増設など、介護施設を充実します。
 - ・国民健康保険税・介護保険料を引き下げます。
- 学校を存続し、豊かな教育を
 - ・学校はまちづくりの核であり、すべての学校を存続します。
 - ・老朽校舎を計画的に新築・改修し、教室にエアコンを設置します。
 - ・少人数学級を推進します。
 - ・学校給食の自校調理方式を堅持します。
- 災害に強く、地域に根ざした産業を
 - ・中小零細業者の仕事づくり、雇用創出する住宅リフォームや太陽光など再生可能エネルギーに補助します。
 - ・防災の拠点として、祖父江・平和支所を存続します。
- 憲法9条を守り、平和行政を進めます



参議院比例予定候補
たけだ 良介



元市議会議員
渡辺 和明



学校統廃合に反対する会
竹澤 清

私も応援します